

音楽でつなぐ 支援の輪

大勢のアーティストが歌を通して被災地の復興を支援

東日本大震災被災者への応援や被災地域の復興を支援する事を目的として4月17日、市迫体育館で地元を中心に活躍しているアーティストによる震災復興チャリティコンサートが開催されました。



コンサートに参加したアーティストの皆さん

これは、音楽を通じて復興への支援や地域の活性化を願う文化・スポーツクラブはさまとH@!FMの共催により開催されたものです。

コンサートでは、清水バンドや飯塚博之&野家一行、泉忠伸&Mie、綾華などH@!FMにゆかりのあるアーティストや地元を中心に活躍しているアーティストが多数出演し、歌を通して復興に向けたエールを送りました。

会場には、約130人が来場し、会場に設置された募金箱には、来場した皆さんから21万3676円もの温かい善意が寄せられました。寄せられた義援金は、関係機関を通じて被災地に届けられます。



会場に訪れた人から、温かい善意の寄付

国境を越えた温かいきずな

ネパール人協会の皆さんがカレーを炊き出し

「本場のカレーを味わってもらい、日ごろ日本で仕事や勉強などでお世話になってるネパール人みんなからの感謝の気持ちと、復興に向かっのてのエールを送りたい」と4月16日、在日ネパール人協会のLal Bahadur KC会長やギリラム実行委員長など、会員約50人が東京やその周辺から集まり、避難所となっている登米公民館と津山若者体育館を訪れて本場の力



早朝から、本場のネパールカレーを準備

「本場のカレーを味わってもらい、日ごろ日本で仕事や勉強などでお世話になってるネパール人みんなからの感謝の気持ちと、復興に向かっのてのエールを送りたい」と4月16日、在日ネパール人協会のLal Bahadur KC会長やギリラム実行委員長など、会員約50人が東京やその周辺から集まり、避難所となっている登米公民館と津山若者体育館を訪れて本場の力



「たくさん食べて」とカレーを振舞う会員の皆さん

「本場のカレーを味わってもらい、日ごろ日本で仕事や勉強などでお世話になってるネパール人みんなからの感謝の気持ちと、復興に向かっのてのエールを送りたい」と4月16日、在日ネパール人協会のLal Bahadur KC会長やギリラム実行委員長など、会員約50人が東京やその周辺から集まり、避難所となっている登米公民館と津山若者体育館を訪れて本場の力



ヨガのいろいろなポーズで、心身ともにリフレッシュ

期待と希望に胸を膨らませて

市内幼稚園、小中学校で入園・入学式

4月は、夢や希望を胸に抱く入学シーズン。市内でも多くの幼稚園や小中学校で入園式と入学式が行われ、児童生徒は大きな希望を胸に抱きながら、元気に校門をくぐりました。

今年度は東日本大震災とその余震により各学校で入学式が延期され、4月15日に入学式が行われた米川小学校では、新入学児童が、元気いっばいに保護者と初登校をしました。



校長先生と学校でのお約束をしました。(米川小)



名前を呼ばれ「ハイ」と元気な返事 (浅水小)

式では、新入学児童17人一人一人の名前が読み上げられ、伊藤文由校長から「元気なあいさつができる人、友達と仲良く遊ぶことができる人、一生懸命に勉強する人、この3つを先生と約束しましょう。学校では、たくさん勉強し、おいしい給食を食べてお兄さんやお姉さんと元気に遊んでください。また、運動会や遠足など楽しいことも一杯ありますよ」「皆さん、校長先生と

も遊んでくれるかな」とのお話しに新入学児童は「ハイ」と元気に答えていました。浅水小学では、新入学児童が担任の先生に引き連れられて入場し、一人一人が順番に名前を呼び上げられ元気に返事をしました。教職員紹介では、先生たちが「よろしくお願ひします」とあいさつするたびに新1年生も「よろしくお願ひします」と返し、その微笑ましい光景に会場も和みました。



力強く誓いの言葉を述べる菅原君 (南方中)

その後、2年生の皆さんから、1年生を歓迎するピアノ演奏や、全学年でBELIEVE(ベリーブ)の合唱が行われた後、「皆さんの入学を楽しみに待っていました。学校には、楽しい行事がたくさんあります。明日から一緒に楽しく過ごしましょう」とお迎えの言葉が送られ、新入学児童は小学生の仲間入りをしました。

当日は市内の多くの小学校で入学式が行われ、各会場を訪れた大勢の父兄が、カメラやビデオで子どもたちの晴れの瞬間を記録していました。南方中学校でも同じく15日入学式が行われ、新入学生徒77人が緊張した様子で体育館に入場しました。式では吉野幸信校長が「これからの3年間は自分の将来を決める大切な時期になります。学校生活では、文武両道を目指し、自分の限界に積極的に自ら挑戦してほしい」とあいさつ。新入生を代表し、菅原将平君が「学習では、新しい教科の英語と難度が上がる数学を頑張りたいです。学校生活では、先生や先輩たちの助言をしっかり聞き、充実した中学校生活を送りたいと思います」



みんなと一緒に記念写真 (新田幼)

と誓いの言葉を力強く述べました。

新田幼稚園では18日、新入園児の4歳児「そらぐみ」17人と5歳児「ほしぐみ」1人が、真新しい園児服姿で保護者と初登園。式では、新入生の入場を来賓や保護者の皆さん、先生たちが大きな拍手で迎え、園児たちはこれから始まる幼稚園の生活に希望で胸を膨らませながら、緊張した面持ちで入園式に臨んでいました。

また、今年度は、東日本大震災で本市に身を寄せている児童生徒が市内小中学校18校に転入し、地元の児童、生徒と一緒に温かく迎えられ、各学校で新しい学校生活をスタートしました。